

2年生「総合的な学習の時間」『卒業生のお話を聞く会』

2年生3学期は3年生ゼロ学期と呼ばれ、とても大切な時期とされています。つい最近まで高校生だった身近な先輩のお話を聴くことが、「今すべきこと」を考える上で役立つと考え「総合的な学習の時間」において、『卒業生のお話を聞く会』を行いました。

大変忙しい中、県外で生活している先輩も都合を付けてくださいました。様々な方面の学部で学ぶ大学2年生(10回生)の近藤昭仁さん、田村青葉さん、佐藤真誉さん、大野由理菜さん、奥田純加さん、吉田真菜さん、秦 秀馬さん。そして、自動車メーカーで働く田中初菜さんの8名が丁寧に語ってくれました。高校時代の頑張ったこと、現在の生活の充実している様子などを「可能性は無限大」「夢が実現したことをイメージして」「自分のペースを作る、どう頑張ったかが大切」「自分に合った入試方法を考えよう」「日頃から活字を読むこと 自分で日々の努力を怠らない」「大学は自由な時間があるので、自分でどう使うかを考えることができる、だが自己責任で行動しないとイケない」といった言葉で語ってくれました。体験談から入試や就職試験に向けてすべきこと、後輩に向けて想いのこもったアドバイスがプレゼントされました。



↓ 生徒感想 ↓

- ・先輩がとても楽しく高校卒業後を過ごしていて僕もあんな風になりたいと思った。そのためにもっと勉強して自分の行きたい大学に行きたい。目標・夢を持つという話を全員がしていて、やはり自分の夢や目標に向かって頑張るとやる気が出ると思うので、自分も何か大きな夢を見つけたい。
- ・目標を持って行動しているので、自分で目標を定めて行動しないといけないなと思った。吉田さんの遠くのところに行っても、視野を広げるきっかけになって良いという話、そういう考え方もあるんだと思った。
- ・夢に向かって努力する姿勢はとても格好いいと思いました。自分はまだ目標が決まっていないので、早いうちに決めて頑張ろうと思いました。
- ・田村さんのどこの大学に入ったかではなくて、この大学で何をすることが重要だという話が印象に残った。
- ・勉強する習慣を付けること。
- ・今の自分と比べて、自分はまだまだ努力が足りないんだと改めて実感しました。受験生になるということはこういうことなのか、考えさせられました。自分には受験に対して覚悟が足りないなと思いました。
- ・自分で自分の未来を決めるというのは、自分の頑張りでどうにでもなると思ったから、すごく印象に残った。
- ・将来のことを考えるきっかけになったと思う。大学での生活、就職、一人暮らし…。様々な体験談はどれも努力から成り立っていると思いました。
- ・自学自習の習慣を付ける。進学は視野を広げる。
- ・印象に残った話は、「大学生は自由に過ごせるけれど、自己責任であること」。自分で考えて過ごすのは大変そうだなと思ったから。
- ・印象に残った話は「目の前のことを全力でやる。その過程がいろいろな所で役に立つから。」です。

今後の生活にきっと変化が出ることでしょう。

講演会が終わってからも、先輩に質問に来ている2年生の生徒たちもいました。

